

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	640 有害鳥獣駆除事業	会計	01	一般会計
基本	42 持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
施策		項	02	林業費
		目	02	林業振興費
	9 有害鳥獣対策の推進	細目	102	有害鳥獣駆除事業
		細々目	01	有害鳥獣駆除事業
基本計画該当頁		161		行革大綱の重点事項番号
		7		
担当部課	コード 703500	評価者 氏名	土永 瑞穂	連絡先 47 - 1158 (内線)
	名称 大山田支所産業建設課			

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	農作物及び地域住民等	農作物・畑作物への被害を削減できます。
	(※対象件数)	
根拠法令・要綱等 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律・三重県有害鳥獣捕獲許可事務取扱要領		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
事業内容	有害鳥獣による農作物等の被害を低減させるため、伊賀市猟友会に捕獲駆除を委託し、生息数の適正化と地域における農作物被害の減少に努めました。	状況変化等 近年、有害鳥獣とされるサル・シカ・イノシシの個体数が今までに増加傾向である一方、猟友会会員の平均年齢が高くなり駆除する人が減少傾向にあることが課題となっていました。鳥獣被害にあっている地元の方に、狩猟免許の取得を勧めたところ、少しずつではあるが免許取得者が増加し、地域のことは地域で守る体制ができつつあります。
	野猿捕獲報償 30,000円×30頭=900,000円 野猿捕獲檻管理業務委託料 504,000円 (川北・鳳凰寺・上阿波・甲野・炊村の5地区) 賠償責任保険 3,080円 土地借上料 22,494円	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
野猿捕獲頭数	頭	目標 25 実績 18	目標 15 実績 30	20	30
その他有害鳥獣捕獲頭数(シカ・イノシシ)	頭	目標 9 実績 33	目標 30 実績 70	50	50
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
受益面積	耕作面積	ha	目標 753 実績 753	目標 753 実績 753	753	753
鳥獣害による被害面積	被害面積	ha	目標 280 実績 280	目標 260 実績 272	260	260

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	大山田では村の時から猿被害が多く、農家の一番の悩みとなっているため、猿専用捕獲檻を設置し駆除に努めてきました。特に猿の被害は年中に渡るため、地区で猿檻を管理し農作物の獣害防止を図っています。また伊賀市猟友会へ有害駆除を依頼し、個体数の適正化及び獣害防止に努めています。
有効性	3	近年、有害獣の繁殖力が増大しているが、猟友会員に有害駆除を依頼するとともに、常時猿檻を設置し捕獲することにより、個体数を減少させることに努めている。
達成度	4	年間20頭以上の猿を駆除し、またその他有害鳥獣の駆除を行い目標達成に努めました。
効率性	3	有害鳥獣による農作物被害を減少させるには、個体数を減らすか獣害防止柵により田畑を守るしか手立てはないため、コスト削減は難しいが、獣害対策事業と連携をして効率の良い対策を実施していきます。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	狩猟免許取得の推進し、猟友会員の増加に努めます。また老朽化により1箇所減となりましたが、地域に設置した5箇所の野猿捕獲檻での野猿の駆除を引き続き行います。国の特措法である獣害対策事業と連携をしていきます。

進捗状況	年度	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	事業推進報償費		(千円)	事業推進報償費		(千円)	事業推進報償費		(千円)	事業推進報償費		(千円)	事業推進報償費		(千円)	事業推進報償費		(千円)
		30,000円×18頭	540	900	30,000円×30頭	900	0	30,000円×30頭	0	0	30,000円×30頭	0	0	30,000円×30頭	0	0	30,000円×30頭	0	0
工事	事業内容	賠償責任保険料	4	4	賠償責任保険料	4	4	賠償責任保険料	4	4	賠償責任保険料	4	4	賠償責任保険料	4	4	賠償責任保険料	4	4
		野猿捕獲檻管理業務委託料			野猿捕獲檻管理業務委託料			野猿捕獲檻管理業務委託料			野猿捕獲檻管理業務委託料			野猿捕獲檻管理業務委託料			野猿捕獲檻管理業務委託料		
進捗率(%)	事業内容	120,000円×6箇所	720	100,800円×5箇所	504	91,320円×5箇所	457	91,320円×5箇所	457	91,320円×5箇所	457	91,320円×5箇所	457	91,320円×5箇所	457	91,320円×5箇所	457	91,320円×5箇所	457
		野猿捕獲檻			野猿捕獲檻			野猿捕獲檻			野猿捕獲檻			野猿捕獲檻			野猿捕獲檻		
		土地賃貸借料	30	30	土地賃貸借料	30	30	土地賃貸借料	30	30	土地賃貸借料	30	30	土地賃貸借料	30	30	土地賃貸借料	30	30
		資材費	96	0	資材費	0	100	資材費	100	100	資材費	100	100	資材費	100	100	資材費	100	100
		事業費計(A)	Σ	1,390	事業費計(A)	Σ	1,438	事業費計(A)	Σ	591	事業費計(A)	Σ	591	事業費計(A)	Σ	591	事業費計(A)	Σ	591
事業投入人員		人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.3	人 2,160
フルコスト(A)+(B)				3,550			3,598			2,751			2,751			2,751			2,751

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	1,390	1,438	591	591	591
Aの財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	1,390	1,438	591	591	591
計	1,390	1,438	591	591	591
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				